



#75
ミヤマ

8月末に開幕した第25回関東大学女子サッカーリーグ戦、通称関カレ。9月は5試合をこなす怒濤のスケジュールとなった。1勝1敗で臨んだ第3節の相手は早稲田大学。大学女子サッカー界の女王として君臨し、現在2年連続大学日本一の伝統と実力を兼ね揃えた強豪だ。前節の筑波大学戦では良い内容で勝利を掴んだ尚美学園大学は、その流れのまま連勝を狙いたいところだったが、終わってみれば0-4、自分たちでペースを崩してしまいやりたいことが何もできず悔しい結果となった。この試合でたつぷりと出た課題をできる限り修正し、臨んだ武蔵丘短期大学戦。何より勝ちにこだわった一戦は、立ち上がり直後に素早い連携から早々に先制点をあげることに成功する。

インカレまであと一歩 “暫定5位”

勢に乗った尚美はそのまま試合を優位に進めると、

後半にはサイドで相手を崩し、上原のシュートをGKが弾き、そのこぼれ球を高橋(花)がこの試合2得点目となる追加点をあげた。終了間際に相手のコーナーキックから失点してしまうものの、リードを守り切って試合終了。昨年度インカレ準優勝を相手にうれしい勝ち点3をつかみ取った。続く第5節は関東学園大学。今季関カレ初となるホームでの一戦は男子サッカー部をはじめ多くの大学関係者が観戦に訪れた。関学とは順位を争っており、どうしてもこの直接対決で差をつけたいところだったが、相手サイドハーフのスピードに苦しめられ、サイド攻撃から失点を許してしまう。なんとか追いつきたい尚美は石淵の



#16
ジュリ



#74
タカ

積極的な仕掛けから相手のファールを誘いPKを得ると、これを自ら決め1-3となるものの反撃もここまで、またも連勝することはできなかった。しかし次節は中一日で行われるため落ち込んではいられない。公式戦では初対戦となる慶應義塾大学は組織的なサッカーをし、相手によって戦術を変えてくるクレバーなチームだ。いよいよ負けれない尚美は攻撃的な布陣で臨む。待望の先制点は前半7分だった。古市(珠)が俊足を活かしサイドを駆け上がると、センタリングと見せかけシュート、ゴールネットを揺らした。試合は尚美ペースで進み、果敢に追加点を狙う。前半35分、初先発となった宮内がゴール前でボールを受けると冷静にコントロールし得意の左足で豪快なシュートを決め、貴重な追加点をあげた。リーグ戦には得失点差が絡んでくるため、

できるだけ得点をとっておきたい尚美は、後半もゴールを狙う。しかし慶應の堅い守備をこじ開けることができず2-0で終了した。インカレへは上位5チームが出場できる。6位になると東日本プレーオフで優勝しなければインカレへは行けない。残すは1ヶ月後、10月22日(土)に行われる古豪・

関カレ日程&結果

日本体育大学との最終節。勝てば4位、負ければ6位となる可能性が高い。ストレートにインカレへの出場権を得るためには勝つしかない。今度こそ連勝をするため、中断期間も気が抜けない。チーム一丸となってインカレ出場を狙う。

	日にち	時間	相手	結果	場所
第1節	8/30(火)	14:00	神奈川大学	2-5 ×	NACK5 スタジアム大宮
第2節	9/4(日)	14:00	筑波大学	3-0 ○	筑波大学
第3節	9/11(日)	11:30	早稲田大学	0-4 ×	早稲田大学
第4節	9/17(土)	13:00	武蔵丘短期大学	1-2 ○	武蔵丘短期大学
第5節	9/23(金)	16:00	関東学園大学	1-3 ×	尚美学園大学
第6節	9/25(日)	16:00	慶應義塾大学	2-0 ○	尚美学園大学
第7節	10/22(土)	13:00	日本体育大学	—	日本体育大学

第33回関東女子サッカー選手権大会



関東大学女子サッカーリーグ戦(関カレ)が一時中断して行われるのが国民体育大会(国体)の本大会と第33回関東女子サッカー選手権大会だ。10月8・9・15・16日に行われる関東女子サッカー選手権大会は関東リーグに所属する8チームと関東各都県の代表8チーム、そして今年度からはなでしこチャレンジリーグに関東圏から参加している2チームの全18チームがトーナメント形式で争い、上位3チームが全日本女子サッカー選手権大会に出場できる大きな大会だ。この全日本女子サッカー選手権大会というのは男子でいう天皇杯にあたり、なでしこリーグ所属のチームとアマチュアのチームが対戦する唯一の大会となる。

尚美学園大学は5年連続で関東選手権に出場しているものの、最高でも2回戦止まりという悔しい結果に終わっている。今年度こそその壁を打ち破り、全国大会へと駒を進めたい。10月8日(土)に行われる初戦の相手は山梨県代表の日本航空高校。高校年代では全国大会の常連であり、なでしこリーグや全国の強豪校に選手を輩出する名門校だ。豊富な運動量でグラウンドを広く使い、精度の高い攻撃を仕掛けてくるサッカーは高校生といえども侮れない。日本航空高校に勝てば、翌日9日(日)に大東文化大学(埼玉県代表)と関東学園大学(関東リーグ2位)の勝者との2回戦が行われる。いずれも会場は栃木県那須塩原市にある青木サッカー場。トーナメント戦のため、勝たなければ後へは繋がらない。チームとして成長するために、強さを身につけるためには勝つしかない。

山口国体3名出場

8月に各地域で予選が行われた国民体育大会(通称:国体)。尚美からは16名が全国各地の代表として参加し、見事3名が予選を勝ち抜きました。山梨県代表として、1年・小林映里奈(エナ)、上原亜梨紗(アリサ)が、徳島県代表としてコーチの美馬智子が選手として出場します。本大会は山口県にて10月3~6日の日程で行われます。トーナメントを勝ち抜けば連戦となる過密日程ですが、出身県の、そして尚美の代表としてがんばってほしいと思います(^_^)



エナ



アリサ



美馬コーチ

10月8日(土)
vs 日本航空高校
12:00キックオフ
in 青木サッカー場(人工芝)
 2回戦 12:30キックオフ
 in 青木サッカー場(人工芝)
 3回戦 13:00キックオフ
 in 宇都宮市サッカー場
決勝戦・代表決定戦
 in 鹿沼自然の森
総合公園サッカー場

練習試合 (対戦相手のみ)

- ・武蔵丘短期大学 [埼玉]
- ・慶應義塾大学 [東京]
- ・晴海総合高校 [東京]
- ・湘南学院高校 [神奈川]
- ・浦和レッズレディース Jr. Y [埼玉]
- ・ASエルフェン狭山 [埼玉]
- ・入間向陽高校 [埼玉]



編集後記

だいぶ涼しくなり、大きな台風があったものの最近はずれの日が多くサッカーをするのに最適の日が続いて、まさにスポーツの秋ですね！関カレは勝ったり負けたりとなかなか安定しない尚美ですが、力は少しずつついてきていると感じます。インカレに向けて、何としてでもあと1勝がほしいです。1日1日を無駄にしないよう練習に励みたいと思います。相田みつをさんの詩集を見ていてドキッとした言葉です。「むりをしないで なまけない わたしは弱い人間だから」
 4年主務 本谷さち